

しべちゃ花探検! 京都大学北海道研究林

本町には京都大学の研究林があることをご存知ですか？

この研究林には山や川、草原など様々な自然環境があり、全道一斉の開花調査「北海道フラワーソン2012」では、山林から水辺の花まで合計102種をカウントしました。

普段は立ち入ることが出来ない研究林にお邪魔して、多彩な花を見せて頂きましょう！



ノビネチドリ

1. 日 時 6月21日(土) 午前9時～正午 (少雨決行)
※荒天時は6月22日(日)に順延
2. 集合場所 京都大学フィールド科学教育研究センター
森林ステーション北海道研究林管理棟前
3. 定 員 15人 (小学生以下は保護者同伴)
4. 参加費 1人50円 (保険代)
5. 申し込み 郷土館
6. 締め切り 6月15日(日)
※定員になり次第、締め切ります。

大川のほとり
—郷土館だより(第62号)—
☎487-2332
開館時間
午前9時30分～午後4時30分

郷土館より 上
一筆啓 上

6月となり春から夏へと移り変わると共に、外で活動する機会も多くなります。郷土館も季節に合わせた、さまざまな行事や講座を企画していますので、どうぞ利用してください。(坪)



西別岳の山登り地図

1 「登300～500m」谷川

登山口からしばらくは林の中の緩やかな坂道を上っていきます。針葉樹林帯なので、ここではあまり目立った植物を見ることができませんが、ここでは登山靴の紐を調整しウオーミングアップのつもりで。うぐいす谷あたりから頭上がひらけ、その名の通りウグイスの鳴き声が聞こえます。

本町の北側に位置する西別岳は、阿寒国立公園の中にあります。登山口から1時間半程度で山頂に行くことができる標高800mの低い山なのですが、高山植物を見ることが出来ます。また国の天然記念物であるカラフトリシジミという大変美しいチョウが生息しています。

平成24年6月に行われた全道一斉の花の開花調査「北海道フラワーソン2012」では、1日で51種の花を確認しました。今回はこの調査の結果をもとに、6～7月の西別岳の花について紹介します。

2 「がまん坂」

その名の通り、真っ直ぐなきつい上り坂が続きます。登山道の両側がささやぶでほとんど日陰となる場所がありません。ここは無理をせず、ゆっくりマイペースで登ります。

一直線に高度を上げるので登るのはつらいのですが、道の所々にチシマフウロやアヤメなどの花が咲き、この坂を登り切る頃には、ハクサンチドリなど高山植物が顔を出します。またほとんど木が無いので、振り返ると眼下に広大な林と牧草地を見下ろすことができます。



カラフトリシジミ

しべちゃ
*
だより

「初夏の西別岳の魅力」

『標茶町郷土館報告』
第25号
～ 無料配布中 ～



本町の歴史や自然に関する報告と、郷土館の活動年報告を収録した『標茶町郷土館報告』第25号を無料配布しています。今号では、『国有林地に「標茶集治監を」』や『タンチョウ観察報告書』のほか、標茶在住の昆虫研究者、飯島一雄氏による各種昆虫類の報告などが掲載されています。希望する方は郷土館まで連絡してください。

しべちや寫真館



撮影／明治25～32年の間
場所／標茶町市街
出典・所蔵／郷土館

「本間商店の店内」

標茶町市街にあった「本間商店」の店内を写した写真です。本間商店は雑貨屋で、さまざまな生活用品を売っていました。この写真は今年1月に、関係者から寄贈されましたが、明治時代の商店内を写した写真は珍しく、当時の様子が伺えます。

本間商店は、標茶に釧路集治監があった明治25～32年まで店を構え、その後釧路へと移りました。こうした写真が残されている事からも、かなり大きなお店であった事が伺えます。

3 「お花畑」

西別岳には第1～第3お花畑と呼ばれるところがありますが、面白いことに『お花畑』という看板がない場所に花が咲いています。年によっては6月上旬までチシマザクラが咲いており、6～7月にかけては地味ながら目を引くクロバナハンショウヅルが登山道沿いに咲いています。



クロバナハンショウヅル

4 「リスケモ〜バウバウ」



コケモモ



ユキワリコザクラ

第2お花畑から第3お花畑へ抜ける途中に長年、西別岳の登山道を管理されている加藤利助氏の名前にちなんでつけられた「リスケ山」があります。この山頂付近から第3お花畑、ごくらく平に抜ける道の花が見事です。エゾツツジやコケモモ、ミヤマオダマキ、岩の陰にユキワリコザクラを見つけることができるかもしれません。



ミヤマオダマキ

5 「山頂」

天気が良ければ山頂から摩周湖と摩周岳を眺めることができます。景色がいいのでつい遠くばかり眺めてしまうのですが、実は足元にゴゼンタチバナやミネズオウといった花が咲いています。

さて、帰りは足が疲れています。特に『がまん坂』の下りは足に負担がかかります。どうか下りこそ、慎重に。



ゴゼンタチバナ

注：登山時のルールを守って楽しく登りましょ。